

# OB会 だより



定年後の人生・・・

新しい道に挑戦し、

輝いている仲間は

たくさんいる。

その一人 富田厚子さん

「墨絵」に挑戦

50 歳を過ぎた頃、同僚と病院に缶詰のような生活で退職後どうしようかと話題になった。

そこで絵をはじめることになり、先生を紹介してもらって、月に 2 回病院の片隅で手ほどきをうけた。それが今も続いている。最初は油絵、次に水彩、そして白黒で色を

挑戦シリーズ  
No.26

表現する「墨絵」。それに韓国語も。あれもこれもと欲張っているがどれも芽が出ない。「そう簡単にはいかないさ」「継続は力」と自分に言い聞

かせ 10 数年たっている。成果といえば「みぬま」のデイサービスで、利用者さんの絵手紙教室を手伝っていることかな。いっしょに楽しい時間を過ごしています。残念なのは、絵をはじめるときかけになった同僚 2 人が先立ってしまったこと。自分も老いを感じるこ

とも、いつまでも下手の横好きでいい・・・



みなさん、おめでとうございます。

お正月はいかがお過ごしでしたか。

今年も健康第一！ 元気にすごしましょう。

昨年は戦後の日本にとって最も重大な転換点でありました。  
「戦争ができない国」から「戦争ができる国」へと変わりました。

国民の声を無視してかじを切った事です。

憲法学者の9割が「憲法違反」だと主張、国民の過半数がこの法案に反対しましたが、自民党・公明党などの賛成多数で強行したものです。この法律が実際に運用される事のないよう、強く反対運動をひろげていきましょう。

今年は7月に参議院選挙があります。

自・公政権を終わらせていこうではありませんか。

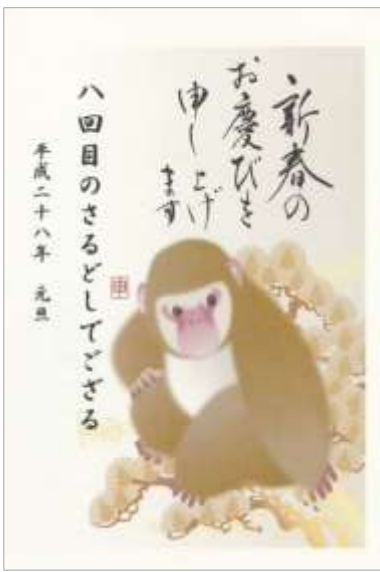
みなさんのご協力で作成中の「戦後70年、私のメッセージ」は50名の会員の参加で、私の体験、歩んだ道、想い等がひとつになった貴重な一冊となりました。2月の総会にはお配りできるよう準備を進めています。

2016年も会員のきずなを大切に、楽しく役立つOB会として大きく成長していきたいと思います。2月28日（日曜日）に行われる26回埼玉民医連退職者の会総会（医療生協さいたま本部会議室）で元気にお会いしましょう。

埼玉民医連退職者の会会長 富田孝博



# 私の年賀状



## 私の近況



### ♪♪ 浅子一江さん

66歳になり初孫が生まれました。  
仕事は28日から1月8日までお休みになります。  
この間はゆっくり休養の予定です。お正月には子どもたちが孫を連れて泊りがけで来てくれます。ゆっくり遊びたいと思います。お誕生が過ぎて元気に育ってくれてとてもうれしいです。  
OB会だよりは楽しく拝見しています。



### ♪♪ 島田 喜久江

地域にあるデイサービスに週3日、短時間ですが勤めています。

また、老人ホームの傾聴ボランティアに参加しています。こちらは学びながらのボランティアです。

利用者さんが自分の思いを語ることで、自分の心が軽くなり、胸の中のつかえがとれるような、そんなお手伝いができればと思っています。話を聴くことでだんだんに利用者さんの笑顔が広がっていくときは本当にうれしいです。こんなふうに思えるのも医療生協で学んだこと、感謝しています。

### ♪♪ 鈴木智子さん

暮れの22日、寺島萬里子先生宅に肥田舜太郎先生を招いてお食事会をしました。参加者は肥田先生、寺島先生、地域の組合員・星野洋子さん、鈴木智子でした。

寺島先生の手料理をいただきながら、「おいしいおいしい」と皆さん笑顔いっぱい。

肥田先生と寺島先生、ながいお付き合いでしょうが

「いままでこんなにゆっくり話をする機会がなかった」と、いつまでも話が止まりません。短い時間でしたが、ゆっくりくつろいでいただけたでしょうか。



♪♪ 山本 康男さん

今年のお正月もいつものように箱根駅伝の応援です。

選手の応援は勿論ですが、各大学の応援団の様子も楽しみです。

その後は日本の伝統工芸品である「箱根寄木細工」を見学し、西伊豆をまわって帰ってきました。この写真は、青学に続いて2着となった東洋大学の選手です。あとわずかでゴール・・・



♪♪ 浦川恵子さん

蔵王だより ～お気に入りの道～

蔵王に来て変化したことのひとつは、車での移動が増えた事と階段の上り降りが減ったこと。たまに使う駅の階段の上り下り、ちょっぴり足取りが重く感じられる。

心がけているのが“ながら歩き”。郵便局に行く、豆腐を買いに行く、共同浴場に行く時に遠回りしていく散歩道の一つが松川沿いの道。日々いろいろな表情を見せる蔵王の山を眺め、時には道端の小さな花を摘む。刈田峰神社の境内横から上る裏山の道もその一つ。秋には山栗の収穫というおまけもある。

何といっても一番のお気に入りは我が家の道。朝カーテンを開けて眺め、お茶を飲みながら眺め、ゴミ出しに行き、郵便を出しにいき、散歩に行く道。今年の紅葉の時期は、当たり前にある我が家の道にうっとりの毎日であった。



我が家の道の紅葉



刈田峰神社の紅葉



裏山のやま栗

民医連退職者の会全国連絡会

10月20～21日  
山梨：石和温泉

## 第8回経験交流集会

19都道府県から84名が参加した第8回経験交流集会は、倒産・再建から32年が経過した山梨の地で開催されました。埼玉からの参加は富田孝博、小嶋美智子、海老塚利明、千野章夫代表と、全国幹事の小川祥江さんです。

### はじめての参加です

千野 章夫

「退職者の会の全国交流集会が山梨であるから参加しないか！」と富田会長から誘いがあり、どうしようかと思いつつ、「久しぶりに富田さんと酒を飲むか」、山梨と聞いて「増田先生との思い出」を考え、講演が山田智先生だと聞き「埼玉医大の学生だった山田先生に逢うことができるか」と思って参加しました。

また、地域で生活していく上で、医療・介護等日常生活の支援事業が今後どうなっていくのか、地域での取り組みはどうしたらよいのかなどいろいろ知りたかった。山田先生の講演から、住民へのサービスは個々の生活要求に対応する機能と役割が必要であるのかなと思いました。交流会での各県連の報告が懐かしく、昔の若者が今も元気なのにびっくりしました。楽しかったです。

13県連の報告はいろいろですが、会員相互の親睦、交流、旅行等が多くを占めながらも、反核平和、戦争法案反対運動の取り組み等が報告されました。また困難な面もあるようでした。会員の高齢化や法人・院所・県連の連絡調整が必ずしもうまくいかない、会員を増やすのに四苦八苦している、会費をめぐる問題（財政不足）などが報告され、ある意味では現役時代にあったような悩みにも似ているものを感じました。



山田先生を囲んだ埼玉の参加者

今回他の県連の方々とは夜中まで交流できたことは有意義でした。47都道府県中30

県に全国の仲間が退職者の会を作り、地域でいきいきと活動している姿は民医連ならではのですね。私は距離的に遠くて日常的な交流がむずかしいですが、OB会だよりを楽しみにしています。

## 全国経験交流集会に参加して

みなさん 元気です !!

海老塚 利明

10月20～21日に山梨県石和温泉で開かれました。第一日目の特別講演は、全日本民医連副会長・介護福祉部長 山田智先生です。「これまでの民医連の到達点と今後の地域包括ケアの実現に向けて」と題し、スライドを使いながら一時間半にわたるお話でした。政府のすすめるシステムは、あくまで「公助」＝国・自治体の責任と費用負担を軽減し、高齢者・家族・地域の「自助」「互助」「共助」を押し付けるもの。民医連がめざす「地域包括ケアシステム」は、東京を始め全国の経験を実践モデルとして紹介しました。民医連の事業所の20%は介護福祉施設であり、売り上げは介護大手14社のトップであり、無料低額診療に30億円支出しているという話が印象的でした。

全国の仲間の報告は、どの県も共通した問題（会費財政・会員増やし・後継者高齢化等）を抱えていますが、みなさん元気で民医連で働いてきてよかったとあらためて思いました。



## 経験交流集会 in 山梨石和に参加して

小嶋 美智子

中央道笹子トンネル工事渋滞で会場到着が2分前、息を整える間もなく始まりました。山梨・石原会長の歓迎のあいさつは、山梨勤医協倒産（1983年）から始められました。すっかり忘れていたことに32年という時の長さを感じました。現在山梨の職員である経験をした人は10%くらいとの事で、次の世代に教訓をしっかりと残していくことを肝に銘じているとの事でした。全参加者86名のうち山梨の参加者は28名、

意気込みのすばらしさを感じました。宿泊交流で、青森・東京・千葉の方と一緒にしました。青森の全国集会参加者の多いことを聞いたところ、OB会から10,000円補助して他は個人負担との事、これも一つの方法として考えさせられました。

埼玉の報告は富田会長が行い、会員の年齢では60代が60%を超えているとの報告に会場がザワつきました。会長の若々しい声も裏付けているようで励みになりました。



いま 地域で

## 「市民サービスの見直し」を現状維持に ～新座市～

朝妻 幸平

新座市行財政改革推進本部が「財政が大変」とのことで、市民サービスの見直しを検討していましたが、平成28年度は現状維持で運営していくことになりました。18歳までの子ども医療費無料、精神障害者通院費助成、住宅リフォーム助成、保育料、放課後児童保育室利用料などです。医療生協さいたま新座支部では、いち早く市長に要望書を提出し、また、新座社保協の再開を呼びかけ積極的に役割を果たしました。行財政改革の推進については、広く市民に知らせ、弱者切り捨てに反対する意見を十分取り入れるよう要望しました。



## 健康フェスタに「虹の薬箱」

山本 康男

医療生協さいたま：秩父地区「第12回 HPH 健康フェスタ」が、1月7日から10日まで、秩父市の矢尾百貨店で開催されました。今年は特に“ヘルスプロモーション”を意識して、健康づくりに役立つ内容で充実しています。その会場の一角に私の仕事、「虹の薬箱」を紹介させていただきました。配置薬を希望された方、初めて虹の薬箱を利用された方など新しい広がりができたうれしい健康フェスタでした。







埼玉高齢者大会

金子兜太さん

「戦争と平和、憲法を語る」

小野 敏

埼玉高齢者大会は、11月16日北本市文化センターで開催されました。午前は記念講演、午後は5分科会でした。全体参加は420名でした。埼玉民医連退職者の会は、午後から幹事会のため、午前の金子兜太さんの「戦争と平和、憲法を語る」に9名が参加しました。金子さんは、現代俳句協会名誉会長、日本芸術院会員で、日本俳句界の重鎮です。埼玉県皆野町生まれ、熊谷市上之在住です。私は、最近、金子さんの講演を行田と今回の高齢者大会で聞きました。その感想です。徹底した反戦・平和を追求する俳人です。

- ・戦前は、女性は声を出さず黙っていた。今は女性が中心に声を上げ、行動している。
- ・海軍中尉としてトラック島に行った。補給が途絶え毎日戦死ではなく、餓死だった。
- ・今、さいたまの一市民が「梅雨空に『九条守れ』の女性のデモ」の俳句が自治会の広報に掲載されず裁判闘争に入っている。戦前「戦争が廊下の奥に立っていた」で投獄された。だから私は、「アベ政治を許さない」を揮毫（きごう）しました。



第一世代の会員を囲むつどい



10月 肥田舜太郎先生  
12月 寺島萬里子先生

10月27日、肥田舜太郎先生を囲むつどいが「虹の森食堂」で開かれ、24名が参加しました。16年1月1日には、先生は99歳を迎えます。民医連医師としての人生を振り返り、大島慶一郎先生から大きな影響をうけたとお話になりました。

「何よりも患者さんを大事にする、どんな場合もその時でき得る最高の医療を行う、病気を作る原因や治療を阻むものと闘う、この三つを大島先生は身をもって実践され、職員もよくがんばりました。昭和28年6月、中野公会堂で全日本民医連が結成され

たことは忘れられないことです。医師だけでなく職員全員が患者を支える運動を進めていこう。病気は技術だけでは治らない、患者を変え、社会を変えていく力を拡げていこうというものでした。当時、私のいた行田の患者さんはみな貧乏で、熱を出して寝ている子どものそばで親は朝から晩までミシンを踏み、必死で働いていました。

私の生涯は、民医連をつくり発展させていくこと、反核のたたかいのためにあったと思っています。

埼玉民医連を支えて働いてきた皆さんは宝物のような存在で、心から感謝しています」と結ばれました。



OB会は先生の 19 冊にもおよぶ出版物の紹介をしました。また「みぬま」の看護師長であった鈴木智子さんが、先生によりそってお世話をしている姿も心に残りました。(仲村敬子)

### 寺島萬里子先生

12月7日川口診療所近くの華屋与兵衛にて23名の参加で行われました。先生からハンセン病への関心から医師を目指した「戦中・戦後」の医学生時代。面白い先生がいるからと入った大井医院。大島先生から24時間医師であれと叩き込まれ、夜中でも一人で自転車で往診に行き砂利道で何度も転び傷だらけになったこと。看護師と往診に行くと若い寺島先生ではなく看護師の方に座布団を出すなどの話もお聞きしました。4年後川口診療所へ転勤。故渡辺タケさんや労働者が中心となり、自分たちが安心してかけられる診療所を造るため100円、500円と出資して出来た医療生協の形態を持った診療所です。川口にお住いの日大の梶原先生の



お宅に長島事務長が診療所支援のお願いに行き、週2回勤務していただくことができました。その後は医局から引き続き派遣していただき、現在の川口診療所

長である内山先生もその一人です。日大の医師から新しい医療を、そして診療所の在宅医療など、互いに学びあえる関係が築き上げられました。

63歳で写真学校に通い始め、消えゆく鋳物の街と労働者を記録に残したいと鋳物工場に通い、写真集「キューポラの灯は消えず」を出版。70歳で退職後、ハンセン病への想いで群馬栗生楽泉園に通いハンセン病患者の生活や人権回復の闘い、韓国・台湾のハンセン病患者についても写真集にまとめました。カメラは傍らに置きご主人の介護に終始しましたが、現在はご主人のかかわっていた短歌の会に参加しています。

先生の作品です。 線路沿いの金網にすがりてひとつ咲く 青く小さい冬の朝顔  
亡き母の好み給いし花なりき やさしき色に咲き告ぐ木蓮は  
近代史を改めて読むわが生は 昭和と共に生きてきたりぬ

89歳となった寺島先生は今も駅頭で「戦争法廃止」の訴えをされています。

(松倉 徳子)

### 埼玉民医連退職者の会

#### 第26回総会のご案内

日時 2月28日(日)10時30分～

会場 医療生協さいたま本部・第一会議室

\*「みんなの作品展」開催します。

**開催日時が変更になりました。ご注意ください。**



### OB会 伊豆の旅



退職後の初参加の旅。天気にも恵まれ、大先輩方と

部屋も一緒！ 歴史も学びながら、のんびりできた2日間でした。寺島先生や舜太郎先生も参加できる企画もぜひお願いします。

(鈴木 智子)

## 安くて楽しかった「秋の一泊 富士・伊豆の旅」

金子 仁志

11月11日、朝から晴れ。この分だと「富士山を背景に山中湖と紅葉」と「地平線に沈む伊豆の夕陽」が撮れるかなと、ひそかに期待しながら参加しました。

しかし何故か富士は顔を見せず。山中湖に着いたあたりで富士にかかる雲は動くかなと微かに期待したもののダメでした。

夕陽の方は少し雲がかかったものの何とか撮れました。しかしこれも期待通りにはいかず、沈んだ位置は「地平線」ではなく伊豆半島の突端、石廊崎（多分）でした。富士山と紅葉の写真は16日に一人で車で川口湖畔に行って撮ってきました。

残念ながら今回お目当ての写真は撮れなかったものの、OB会の仲間と交流が出来、しかも河口湖まで車で行くのに高速料金+ガソリン代（軽自動車）で約8000円かかるところが、運転は人まかせで1泊4食と沢山の名所旧跡観光もついて16500円と、いつもながらの安くて楽しい旅をありがとう。



「海辺の宿いそかぜからの伊豆半島に沈む夕日」



「川口湖畔からの紅葉と富士」（後日撮影）

### あとがき

18日に降った大雪がすっかり凍りついた19日、寒い駅頭に立って「戦争法は廃止」の2000万署名を呼びかけました。知らない青年が近づいてきて「19日ですから、早くこれから国会へ行ってきます」と。ここにも変化が生まれている・・・。

OBのみなさん、年明けの活動はいかがでした？（け）